

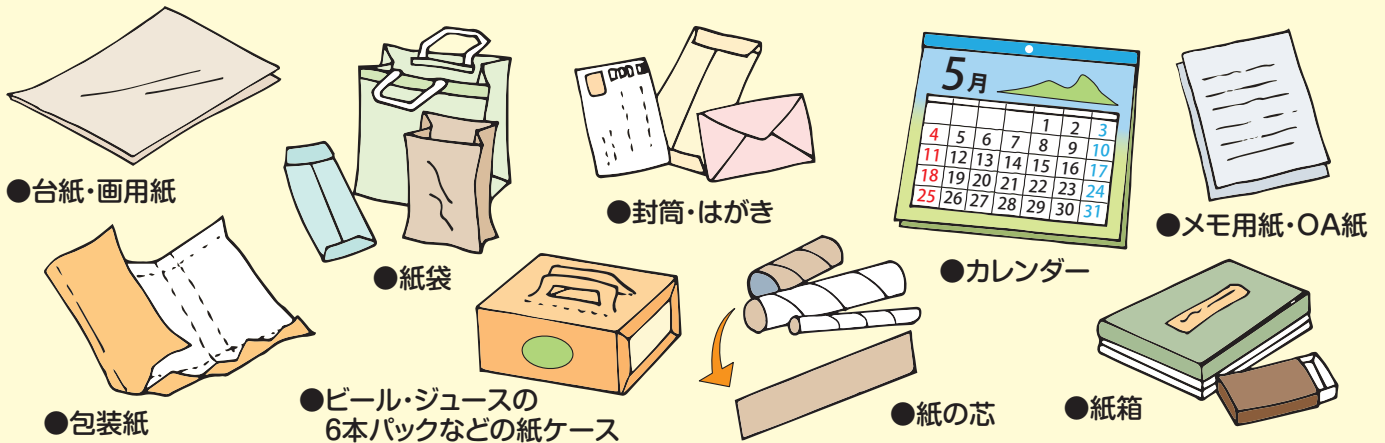
雑がみの出し方が簡単になりました

雑がみは、紙袋や紙箱を利用して 資源ごみ（紙類）の日に出しましょう！

メモ用紙、封筒、トイレットペーパーの芯などを、燃やすごみとして捨てていませんか？
これらの新聞、雑誌、ダンボール、飲料用紙パック以外のリサイクル可能な紙資源を
雑がみといい、燃やすごみの中に多く含まれています。

これまで、雑がみは雑誌にはさみ込み、紙ひもでしばって出していましたが、
紙袋や紙箱に入れて出せるようになりました。

雑がみ（リサイクルできる紙）の例



※感熱紙、カーボン紙、ビニールコート紙、写真などの資源ごみに出せない種類の紙は、燃やすごみに出してください。
詳しくは「ごみの分け方・出し方テキスト」で確認してください。

便利な雑がみの出し方

紙袋の場合



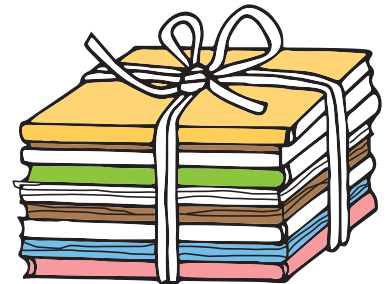
- ホッチキスや紙テープなどで口をとめて出してください。
- 紙袋の取っ手が紙以外の素材の場合、取っ手は外してください。

紙箱の場合



- ふたをして紙テープなどでとめて出してください。
- ダンボール製の箱は使用しないでください。

雑誌にはさみ込む場合



- 雑誌にはさみ、紙ひもでしばって出してください。
- 封筒などに入れてから、はさみ込むこともできます。



- Q においや、油汚れのついた箱は、雑がみとして出せますか？
- A 洗剤や線香、石鹼の箱などのおいのついた箱や、多少でも汚れた紙は、再生品の品質が落ちるため、燃やすごみに出してください。